

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	2025年2月28日
団 体 名	公益社団法人佐久青年会議所 はばたけ青少年委員会		
事 業 名	未来のとびらはあそびの魔法でひらかれる！～あつまれ！げんキッズパーク！～		
事業経費③	1,064,145 円	支援金額⑨	792,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 現代の子どもたちの体力・運動能力は、1985年をピークに現在に至るまで急激に低下しています。また、親の生活習慣に合わせて朝食摂取や睡眠時間の低下、スクリーンタイムの増加など、子どもらしさが失われ大人と同様に子どもの生活習慣が乱れてきているといえます。 子どもの思考力やコミュニケーション能力、そして運動能力を築き上げるのは子どもにとって一番身近な手本となる親や地域の大人の役目です。身近な人や自然等との関わりの中で、発達段階に応じた生活や活動を十分に経験し、特に身体感覚を伴う多くの経験を積み重ねることが子どもの発達には不可欠となります。また、幼少期の経験は、大人になってからの身体活動や健康状態にもつながることから、生涯にわたって健康的なライフスタイルを構築するためにも大切な土台となります。
	事業内容 このような環境を大人はどのように整えたらよいのか、子どもたちとどのように接すればよいのかを考え、プレイリードの大切さを認識すると同時に、親や祖父母のみならず、世代を超えた地域住民が運動あそびをととして将来を担う子どもたちと一緒に自身の運動習慣の改善も含め実践していく必要があります。 そのため、プレイリードの大切さを認識することで、今後の子どもたちに対する接し方やより良い環境の整え方を学び、実践を通して体を動かすことの楽しさを体験することで、今後の運動することに対する意欲を養う機会としました。

○4月講演会 [日時] 2024年4月13日（土） 講演会14：00～16：30（受付開始：13：30～） [場所] 佐久市コスモホール 小ホール・会議室 [講演内容] ●運動あそびの実践[小ホール] （講師）株式会社ルネサンス 幼少年体育指導士 篠田裕子 氏 子どもを健やかに育むプロであるプレイリーダーとしてご活躍されている篠田 裕子氏に実際に体を動かしながら、実践を交えた講演をしていただきました。「運動あそび」の実践を交えた実技を行うことで、地域・家庭における子どもとの関わりに実用的な学びと、子どもと一緒に体を動かすことで親や大人自身の運動習慣改善のきっかけに繋がりました。 ●講演会[会議室1・2・3] （講師）国立大学法人 山梨大学 学長 中村和彦氏 長年に渡り子どものあそびの重要性に関する調査・研究を行っている発達学・発達心理学の専門家である中村和彦氏にご講演いただきました。子どもたちの健やかな育みを支援する「運動あそび」を通じて、その考え方や親子の関わり方、話しかけ方など大人のあるべき姿を学びました。

○10月事業

[日時]

2024年10月13日(日)

10:00~16:00(受付開始:9:00~)

[場所]

駒場公園 多目的広場・芝生広場

[事業内容]

●芝生ひろばで対決あそび

[ブース①]

・新聞紙を使ったあそび

生活に身近な新聞紙であそび道具をつくり親子で一緒に挑戦していただきました。
フリスビー・しっぽとり鬼ごっこ・チャンバラあそび・引っ張りっこ・的あてなど

[ブース②]

・コーン倒し

時間内に色分けをしたコーンをすべて倒し、自分のコーンをすべて倒されないように立て直しながら、相手のコーンを倒すあそびをしました。

[ブース③]

・昔懐かしあそび

筒けん玉、竹とんぼ、などの昔懐かしいあそびをしました。

●親子あそびプログラム

楽しく遊び感覚で走る、跳ぶ、投げるなど運動発達に必要な基本動作を身につけられるよう開発されたプログラムです。子どもの発達段階に合わせたプログラム構成となっており、技能だけでなく、認知能力・判断力やコミュニケーション能力のような社会性の向上も目指しました。

【プログラム内容】

・親子運動あそび教室 (親子参加30組)

アスリートに会う、話す、触れ合いながら36の基本動作に着目したあそびを行いました。親世代が憧れたアスリートが講師をすることで、親の興味関心から参加意識を高めることや、アスリートから子どもにとって運動遊びの大切さを話してもらうことで行動変容につなげることも狙いました。サイン会や写真撮影など、子どもも大人も楽しめる時間も確保しました。

・バランスアップ教室 (親子参加30組)

自らが楽しみ、仲間や観る人たちも一体となって楽しむという「楽しむこと」が最優先されるアーバンスポーツの概念を理解し、体験することによって、「おもしろく、のめり込む」感覚を肌で感じていただきました。

学力、体力、運動能力の向上は姿勢から始まります。アーバンスポーツの一つであるスラッグラインの導入として、スラックレールを使用し、姿勢づくりの基礎となる体幹を整える機会としました。

・かけっこ教室 (親子参加30組)

走るのが遅い＝運動が苦手 といった感覚に陥ってしまう場合があります。走る練習をしてもすぐに走り方を覚えてできるようになるのは難しく、練習することで運動が嫌になってしまうことがあります。

この教室では、「走る」って楽しいなと思いながら経験する機会を増やし、体をコントロールする力を高め、力いっぱい走る機会をつくることで、走り方を習得するように促しました。



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	●成果 ○4月講演会 親の意見の押し付けではなく、子どもの意見を尊重することの重要性や今後の子育てのあり方について考えさせられるきっかけとなったなどの言及が多くあり、また、運動あそびの実践をしたことによって、親子で体を動かすこと、一緒に活動することの大切さについて改めて再認識したという声もありました。 [アンケート] 目標：「プレイリードの大切さを認識し、今後の子どもたちに対する接し方やより良い環境の整え方のご参考になりましたか」の問いに対して「とても参考になった」「参考になった」の回答率が80%以上とします。 結果：「とても参考になった」「参考になった」の回答率100% [参加員数] 大人：111名 子ども：63名 計174名 ボランティア：佐久長聖高校インターアクト部11名 寺子屋塾2名
	○10月事業 親子で一緒に時間を共有し体を動かしながら過ごすことが喜ばれ、貴重な体験の場として好評をいただきました。また、青年会議所だからできる活動として、地域に根差した組織としての信頼を高め、地域住民とのつながりを強化し、地域貢献のビジョンに沿った事業となりました。 [アンケート] 目標：「おもしろく、のめり込めるような体験ができましたか」の問いに対して「とてもできた」「できた」の回答率が80%以上とします。 結果：「とてもできた」「できた」の回答率100% [参加員数] ・芝生ひろばで対決あそび：子ども121名 大人91名 計81組212名 ・親子あそびプログラム：子ども137名 大人106名 計91組243名 ボランティア：佐久長聖高校インターアクト部4名
	●効果 4月講演会、10月事業を通して、参加者に対して、プレイリードや非認知的な発達において、大人の役割の重要性を認識してもらえる具体的な方法を提供できたと言えます。また、アンケート結果より、「体を使った遊びに笑顔で取り組んでいた」「普段やらない遊びを楽しめた」「新しい運動方法を学んだ」といった感想が多く、運動を楽しむ意欲が増加したことが伺えました。「今後も運動をしていきたい」「家で体幹トレーニングをやってみよう」「バランス運動を取り入れたい」といった今後の具体的な行動を想起する回答も見られ、実生活に運動を取り入れようとする意欲が育まれる結果となりました。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 期間を2回に分け、講演会と実践を取り入れながら目的達成のため事業が実施できた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 参加者の皆様の声から期待以上の効果が得られた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 別紙の通りとなります。

その他、評価すべき点等	参加者の皆様から定期的な開催の要望をいただきました。また、教育関係機関の方の参加者から今後のカリキュラムの参考にしたい。といったお声もいただくことができました。
-------------	--

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	本事業において広く多くの方への効果を狙い、期間を2回に分け講演会と実践を取り入れた構成としました。結果、目標を上回る方にご参加いただきましたが、さらに大きな波及効果を狙うためには、事業の継続や他機関との連携・協働を進める必要があると考えます。他機関への移管や、違った形での青少年育成に寄与する事業などの開催等を視野に私たち青年会議所が地域連携のハブとして、連携機関の繋げ役となり他団体でも企画開催していただける様、日々の活動を継続してまいります。
---------	---

あつまれ!げんキッズパーク!

～みんなで楽しむ運動あそび～



子どもと本気で遊ぶ

公園に連れてくだけで満足してませんか?

子どもとの遊び方教えます!



遊んでいきますか?



10/13日

第一駐車場



親子遊びプログラム

多目的広場

遊びブース

図書館

芝生広場

体育館

自由広場

遊びブースで作った道具等を使って遊ぶスペースとして開放

遊びブース

- ①新聞紙あそび
- ②的当て・玉入れ
- ③筒けん・コーン倒し

美術館

テニスコート

第二駐車場



10:00～16:00 (受付 9:00～)



佐久市駒場公園 多目的広場・芝生広場

佐久市猿久保55 TEL.0267-68-1399



参加無料



年少から小学校6年生のお子様とその保護者



主催: 公益社団法人 佐久青年会議所 はばたけ青少年委員会 佐久市中込2976-4 TEL.0267-62-2656

後援: 佐久市教育委員会・佐久穂町教育委員会・小海町教育委員会・北相木村教育委員会・南相木村教育委員会・南牧村教育委員会
川上村教育委員会・立科町教育委員会

夢中になって遊んでいるうちに 身体を動かす楽しみに気づきます!



芝生ひろばで対決あそび

大人が準備や仕掛けづくりに夢中になり全力で挑戦する、楽しむ姿を子どもたちと一緒に共有しましょう!

生活に身近な物を使ったあそびを取り入れることで、あそび方の工夫や想像力の発達を促します。

10:00~16:00

年少から小学校6年生のお子様とその保護者

芝生広場

事前申込不要・当日受付

昔なつかしいあそび

昔なつかしいあそびに触れてみよう!



コーン倒し対決

親子でコーン倒し対決! 思い切り体を動かしましょう!



新聞紙を使ったあそび

使い方無限大! 生活に身近な新聞紙を使ったあそびを紹介します。

親子あそびプログラム

楽しく遊び感覚で走る、跳ぶ、投げるなど運動発達に必要な基本動作を身につけよう!

技能だけでなく、認知能力・判断力やコミュニケーション能力のような社会性の向上も目指します。

親子で参加!
楽しく遊び感覚でやってみよう!



参加予定アスリート



つばい けいすけ
坪井 慶介氏

1979年9月16日生。東京都多摩市出身の元プロサッカー選手。2006FIFAワールドカップ日本代表メンバー。現役時代のポジションはディフェンダー。現在はサッカー解説者、タレントとして活動している。既婚。3児の父。

各プログラム小学校1~6年生の親子30組

多目的広場

事前予約制

右記QRコードからお申し込みください。
応募期間: 9月30日(月)まで
応募者多数の場合は抽選になります。お早めにお申し込みください。



10:00~10:45

親子バランスアップ教室

学力・体力・運動能力の向上は姿勢から! トップアスリートも使用するスラックレールを使って、姿勢づくりの基盤となる体幹を整えます。



11:00~11:45

親子かけっこ教室

走るのが遅い=運動が苦手と思いませんか? 「走る」って楽しいなと思いながら経験する機会を増やしましょう。



13:15~14:30

アスリートと親子運動あそび教室

トップアスリートに会う、話す、触れ合おう! 幼少期に身につけたい「36の基本動作」に着目した運動あそびを行います。

坪井さんのサイン会や写真撮影もありますよ!



雨天の場合は会場があいとぴあ白田のホールになります。上履きをご持参ください。

佐久市下越 16-5 電話 0267-81-5555



雨天時会場地図

お問い合わせ先 公益社団法人 佐久青年会議所 はばたけ青少年委員会 ☎0267-62-2656

未来のとびらは あそびの魔法で ひらかれる!

まほう

あそびから学ぶ
大人のあり方~

お父さん、お母さん
おじいちゃん、おばあちゃん
先生や、コーチも
子育てに関わる全ての人
あ~つまれ!!

4/13 土

14:00~16:30 (受付開始13:30)

お子様と一緒にご参加いただけます。

もちろん大人だけの参加也大歓迎! 入退場自由

参加無料

事前にお申し込みが必要です。



佐久市コスモホール 小ホール 定員100名
長野県佐久市下小田切124-1 TEL0267-82-3962

(主催) 公益社団法人 佐久青年会議所 はばたけ青少年委員会 〒385-0051 長野県佐久市中込 2976-4 佐久商工会議所館内

(後援) 佐久市教育委員会、佐久穂町教育委員会、小海町教育委員会、北相木村教育委員会、南相木村教育委員会、南牧村教育委員会、川上村教育委員会、立科町教育委員会 (協賛)

講演会

14:00～16:30

(受付開始13:30)

小ホール
定員100名

運動あそびに夢中になって のめり込んでいく子どもを育みましょう!

講師 国立大学法人 山梨大学 学長 **中村 和彦氏**

長年に渡り子どものあそびの重要性に関する調査・研究を行っている
発達発達学の専門家である中村和彦氏にご講演いただきます。

子どもたちの健やかな育みを支援する「運動あそび」を通じて、そ
の考え方や親子の関わり方、話しかけ方などを学びます。あそびは
教える・指導するのではなく子どものあそびを先導する、子どもにあ
そびを届けるといったプレイリードの大切さを認識し、「あそび時
間」「あそび空間」「あそび仲間」の3つの間の理解に繋がります。



パブリカや
ブンバ・ボーンの
ダンス監修

講師プロフィール

山梨大学教育学部卒業。教育学・発達発達学が専門。2023年4月より現職。子どものあそびの重要性に関する調査研究を行う。文部科学省中央教育審議会専門部会委員を務められるなど学習指導要領の内容策定および改定に長年従事。NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」番組内の体操「ブンバ・ボーン」や、2020東京五輪の「パブリカ」のダンスを監修する等、多くの社会的活動や共同研究等を精力的に取り組まれる。



お子さんと一緒に
運動あそびを
実践しましょう!

講師プロフィール

群馬大学工学部卒業、川口市テニス協会ジュニア強化チームのコーチを担当。2011年に幼少年体育指導士を取得。現在は株式会社ルネサンスにて「プレイリーダー」の養成も行う。

プレイリーダーによる「運動あそび」で 子どもの潜在能力を引き出します

講師 株式会社ルネサンス 幼少年体育指導士 **篠田 裕子氏**

子どもが遊びの場でいきいきと遊べるように、その環境を作る「プレイリーダー」としてご活躍されている篠田裕子氏に実際に体を動かしながら、実践を交えた講演をしていただきます。

「運動あそび」の実践を交えた実技を行うことで、地域・家庭における子どもとの関わりへの実用的な学びに繋がります。単に体を動かすのではなく、「面白くてのめり込む」「居心地がいい」「みずから」といった3つの要素を含んでいることが重要です。また、幼少期の経験は、大人になってからの身体活動や健康状態にもつながることから、生涯にわたって健康的なライフスタイルを構築するためにも大切な土台となります。

運動能力、考える力、思いやる気持ち、主体性など、日々変化する今の時代を生きる力を育む言葉かけや関わり方の具体的方法を学びます。

4/13

土

参加無料

事前にお申し込みが必要です。

佐久市コスモホール

お問い合わせ 公益社団法人 佐久青年会議所 はばたけ青少年委員会 TEL.0267-62-2656

お申し込みはこちらから



子どもの遊び 親子で考えて

あす佐久でイベント

佐久市コスモホールで13日、「未来のとびらあそびの魔法でひらかれる」と題した催しが開かれる。佐久青年会議所（J.C.）は、たけ青少年委員会が企画。専門家の講演や、親子で体を動かすことを通じ、遊びの場で子どもたちがいきいきと過ごせる環境のつくり方などを学ぶ。

当日は親子で楽しみながら体を動かす「運動あそび」を実施。幼少年体育指導士で、スポーツクラブを運営するルネサンス（東京）の篠田裕子さんが指導する。新聞紙や風船などを活用し、子どもたちがどう遊ぶかを自ら考え、周囲の保護者らはヒントを与えるなどのサポートをする。希望者は山梨大（甲府市）学長で発育発達学が専門の中村和彦さんの講演会に参加できる。子どもたちの健やかな成長を支援する運動あそびや、子どもたちが主体的に体を動かす重要性などを話す。午後2時から。参加無料。申し込みは佐久J.C.（☎0267・62・2656）へ。

佐久J.C. 5年ぶり親子向け公開例会



動物の真似をしながらじゃんけんする「動物じゃんけん」を楽しむ参加者

信頼の時と宝飾は——
信頼のお店から!!
清水時計店
時計・宝飾・ネーム彫刻
佐久市原町 ☎62-0962

佐久青年会議所（星野仁理事長）は13日、佐久市コスモホールで子どもたちの思考力や運動能力などを育むことを

ねらいとした公開例会を開いた。コロナ禍を経て5年ぶりの開催。子どもと保護者合わせて約230人が参加した。

今回は、「未来のとびらあそびの魔法でひらかれる」あそびから学ぶ大人のあり方」がテーマ。幼少年体育指導士の篠田裕子さんが、全身を使う4種類のじゃんけんや鬼

ごっこなど、運動遊びを実践しながら、参加者に指導。参加した親子や家族は、楽しみながら体を動かしていた。

また、山梨大学の中村和彦学長による講演もあり、「子どもの育ちのレイヤー」や遊びを届ける「プレイリーダーの養成」について話し、参加者は熱心に耳を傾けていた。

佐久JCが2つのイベント実施 未就学児から小学生対象

佐久青年会議所（星野仁理事長）は13日、佐久市猿久保の駒場公園で、「ジモトのタツジンがっこう」「あつまれ！げんキッズパーク」と題して未就学児から小学生を対象にしたイベントを開いた。



ボールを使った運動を元プロサッカー選手が指導した



白樺を使ったコースター作りに挑戦した親子。「上手にウサギが描けたよ」

はばたけ青少年委員会（星野大輝委員長）が主催。「子どもと本気で遊んでいますか」をテーマに親子で取り組めたゲームやボールを使った運動遊びなどを行った。バランスアップ教室や親子かけっこ、サッカーの元プロ選手・坪井慶介さんを

あつまれ！げんキッズパーク

講師に運動遊びの3部分に分かれて実施。3つとも参加する親子もいた。また、新聞紙を使った工作なども行った。「親子で一緒にキッズパークにしよう」と星野委員長。

佐久創り委員会（高見澤聡一委員長）が中心となって発行した管内8市町村の名所や名物を紹介し、体験したことを書き込むノート「ジモトのタツジン」を活用する取り組み。ノートの8市町村の園児約3千人に配布した。この日は3つの体験を用意し約250人が話していた。

ジモトのタツジンがっこう

小諸市で県防災訓練110団体約2000人が参加。県総合防災訓練は20日、小諸市の南城公園を中心にして市総合体育館やこもろ医療センターなど8カ所で様々な訓練を行った。県下各市が順繰りに当番を担当。今回は小

小諸市で県防災訓練

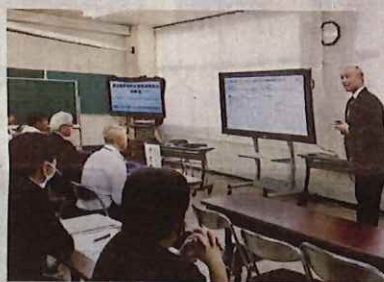


土砂に埋まった家屋に取り残された人や孤立した人、水没した車の救助訓練など、ブル施設を活用し実施

のとなりです。
信用金庫

諸市 自衛 参加 車場 以上 大雨 施 示や 訪れ 避難 組の 年部 提供

東信地域の高校教員が研修



JAL社員(右)から、同社のカスタラ対応について学ぶ高校教員ら

信地域の高校で生徒指導を担当する。「東信高等学校生徒委員会」は10日、客から理不要求令を受ける「カスタマラスメント」(カスハラ)についての研修会を市由で開く。日本航空(JAL)社員が、が定めている方針を教員約30講演、同委員会によると、近年習や住民からさまざまな苦情、罵が各校に寄せられていると、企業を取り組むを参考に対について考えた。

Aは6月、全日本空輸(A)と共同し、共通の懸案だったハラへの対処方針を策定し、暴言などの著しい迷惑行為が、従業員の人権や就業環境を守るため組織的に対応する、と。同日、担当者は「従業員の心理的な負担軽減につながる」とした。

その上で、基本的な対応の質を上げ、苦情を減らす努力をする必要性を講。それでも苦情が出た場合は「相手と事実を共有し理解を求め姿勢」が大切と紹介した。同が学校関係者にカスハラについての講演をするのは初めてという。

丸修学館高(上田市)の武田朋教諭(42)は「外部からの理不尽な教員」に対して対応すればいいが、参考になることが多かったと話していた。

佐久青年会議所（ＪＣ）はばたけ青少年委員会は13日、親子で体を動かす楽しさを学ぶイベント「あつまれ！げんキッズパーク！」を佐久市猿久保の駒場公園で開く。新聞紙や三角コーンを使った遊びなどを企画。催しを通して子どもたちの運動への意欲を育む。

芝生広場で、年少から小学6年生まで

の子どもと保護者を対象に、新聞紙などを使って親子で遊ぶ道具を一から作ることに挑戦。自分の三角コーンを守りながら、相手の三角コーンを倒す遊びもあり、親子で思い切り体を動かしてもらおう。午前10時～午後4時。参加無料（事前申し込み不要）。

多目的広場では、かけっこ教室や元サ

ッカー日本代表坪井慶介さん(45)とボールを使った運動などを行う。こちらは既に申し込み定員に達している。

イベントは雨天の場合、会場が佐久市下越のあいとびあ白田に変更となる。問い合わせは佐久JC(☎0267・62・2656)まで。

廣告